

## 蔵王山の火山活動解説資料

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

蔵王山では、8月6日～10日にかけて火山性微動が3回発生し、火山性地震も多い状況となっています。ただちに噴火する兆候は認められませんが、火山活動に高まりがみられていますので、今後气象台が発表する情報等に留意してください。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### 活動概況

蔵王山では、2013 年 1 月から 2014 年 1 月にかけて火山性微動が 15 回発生する等、火山活動の高まりが見られていましたが、2 月以降低下傾向となっていました。その後 8 月 6 日～10 日にかけて火山性微動が発生し火山性地震も増加する等、火山活動の再活発化がみられています。

#### ・地震や微動の発生状況（図 1～5）

8 月 6 日～10 日にかけて 3 回の火山性微動が発生しました。最大の継続時間と最大振幅は 6 日 22 時 41 分頃に発生した、約 8 分と 2.4  $\mu\text{m/s}$  [坊平観測点（山頂の南西約 5 km：図 6 参照）：上下成分]で、継続時間、最大振幅とも 2013 年 1 月以降発生している微動の中では平均的なものでした。8 日と 10 日に発生した微動は、共に継続時間は短く最大振幅も小さなものでした。

6 日の微動発生直後から、御釜直下付近の浅いところが震源と推定される火山性地震も増加し、特に 7 日には 43 回と 2010 年 9 月の観測開始以来最も多い日回数となりました（これまでの最大は 18 回：2013 年 10 月 23 日）。また、最大振幅の大きな地震も発生しています。今回、発生している地震は、熱水等地下の流体の振動等が原因とされている低周波地震がほとんどです。

#### ・地殻変動の状況（図 4～5）

坊平観測点の傾斜計<sup>1)</sup>で、6 日 06 時頃から 9 日 13 時頃にかけて、南東（山頂の南側）上がりの傾向がみられました。また、6 日の微動発生時の数分前から、1～2 分間の明瞭な南東（山頂の南側）上がりの変化がみられました。このような傾斜変動は 2013 年に火山性微動が発生した際にもみられました。

GNSS<sup>2)</sup>による山体及びその周辺の地殻変動観測に特段の変化はありません。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

#### ・噴気など表面現象の状況（図 6）

刈田岳に設置してある火口カメラでは、降雨等により確認できなかった期間もありましたが、御釜の状況に特段の変化は認められていません。

气象台では火山活動を注意深く監視しています。今後、活動に変化がみられる場合には、噴火警報等を発表します。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

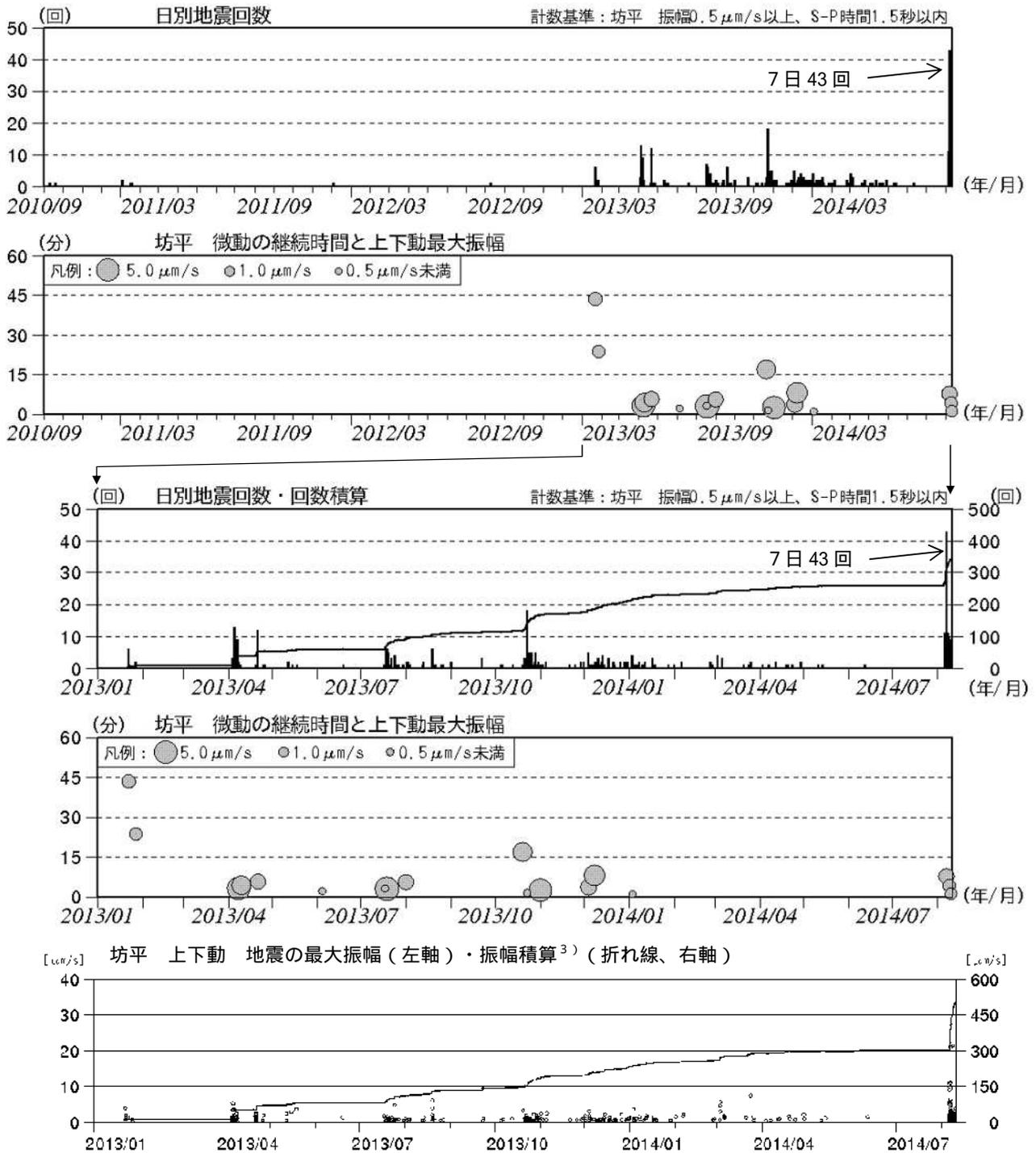


図1 蔵王山 火山活動経過図(2010年9月~2014年8月10日)

- ・2010年9月1日から観測を開始しました。
- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。
- 3) 各地震、微動の最大振幅値を順次加算したものです。これは地震のエネルギー積算に比例するものと考えられます。

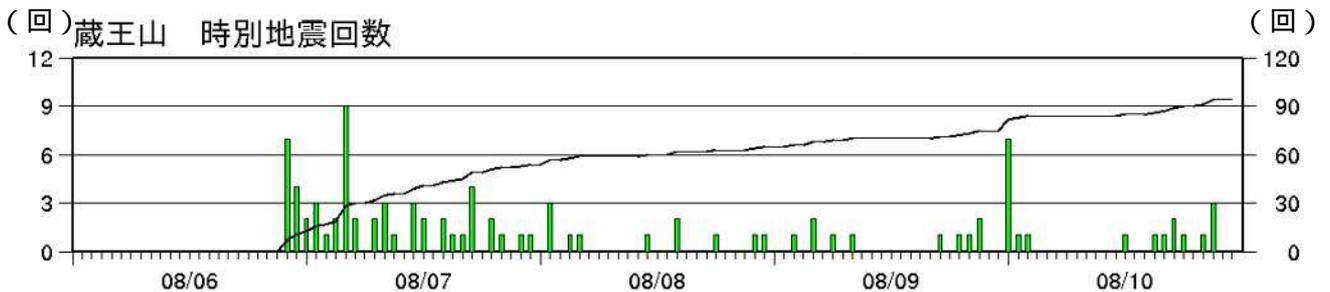


図2 蔵王山 特別地震回数・回数積算(2014年8月6日~8月10日)

- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

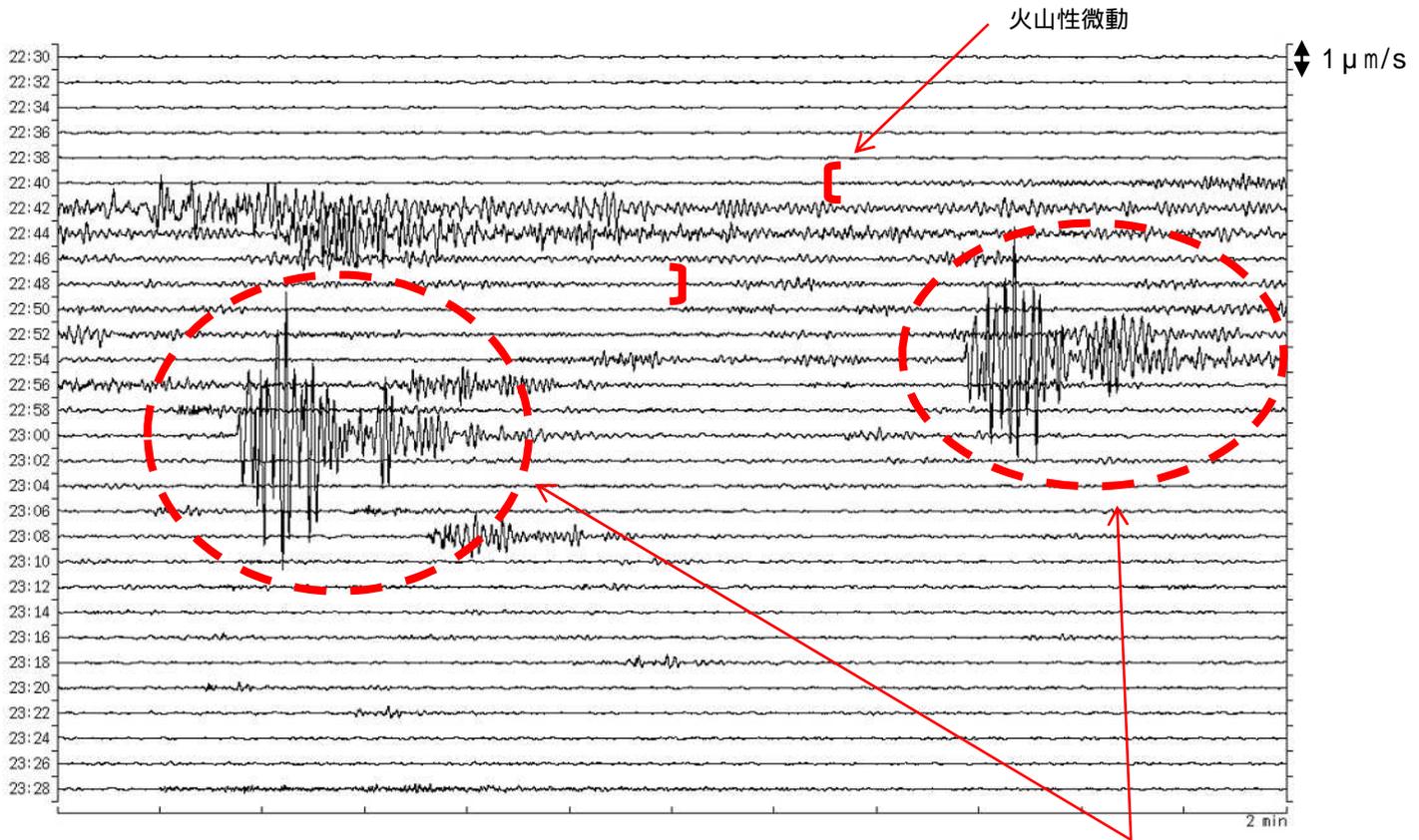


図3 蔵王山 坊平観測点での火山性微動及び火山性地震の発生状況  
 (2014年8月6日22時30分~23時30分)  
 ・波形は上下成分 ・ [ ] が火山性微動 ・ 振幅の大きな低周波地震

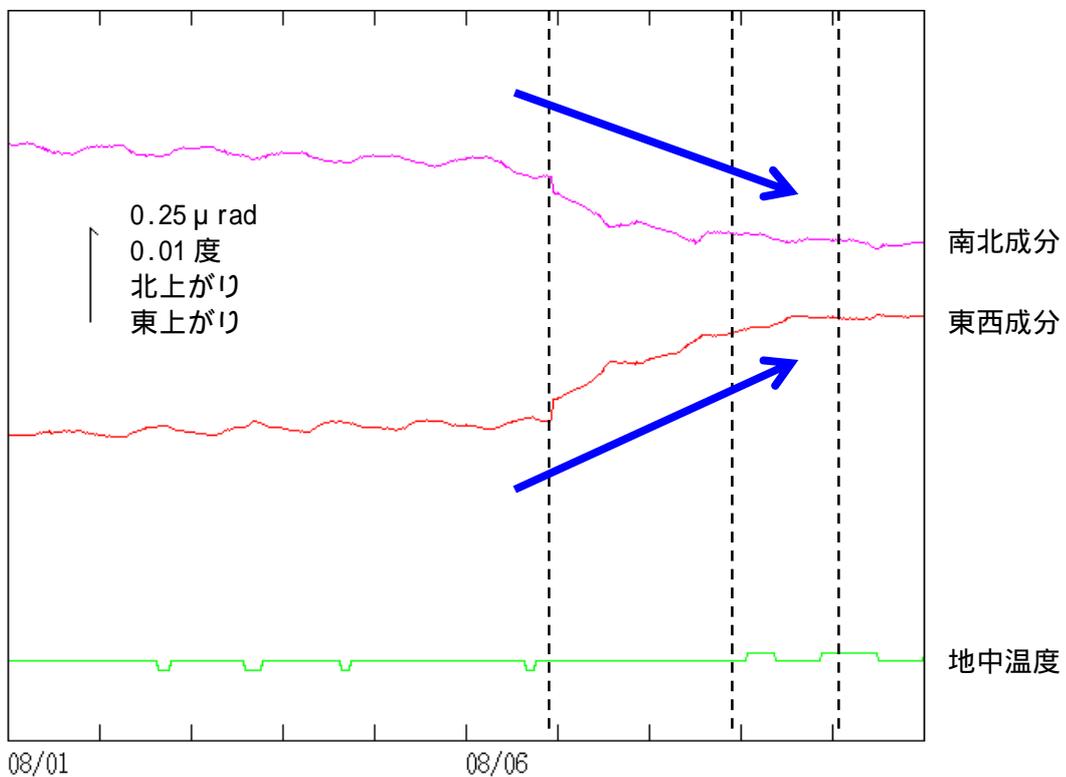


図4 蔵王山 坊平観測点での傾斜変動(2014年8月1日~8月10日)  
 ・黒破線が火山性微動発生時  
 ・ は傾斜計の変化傾向を示します。

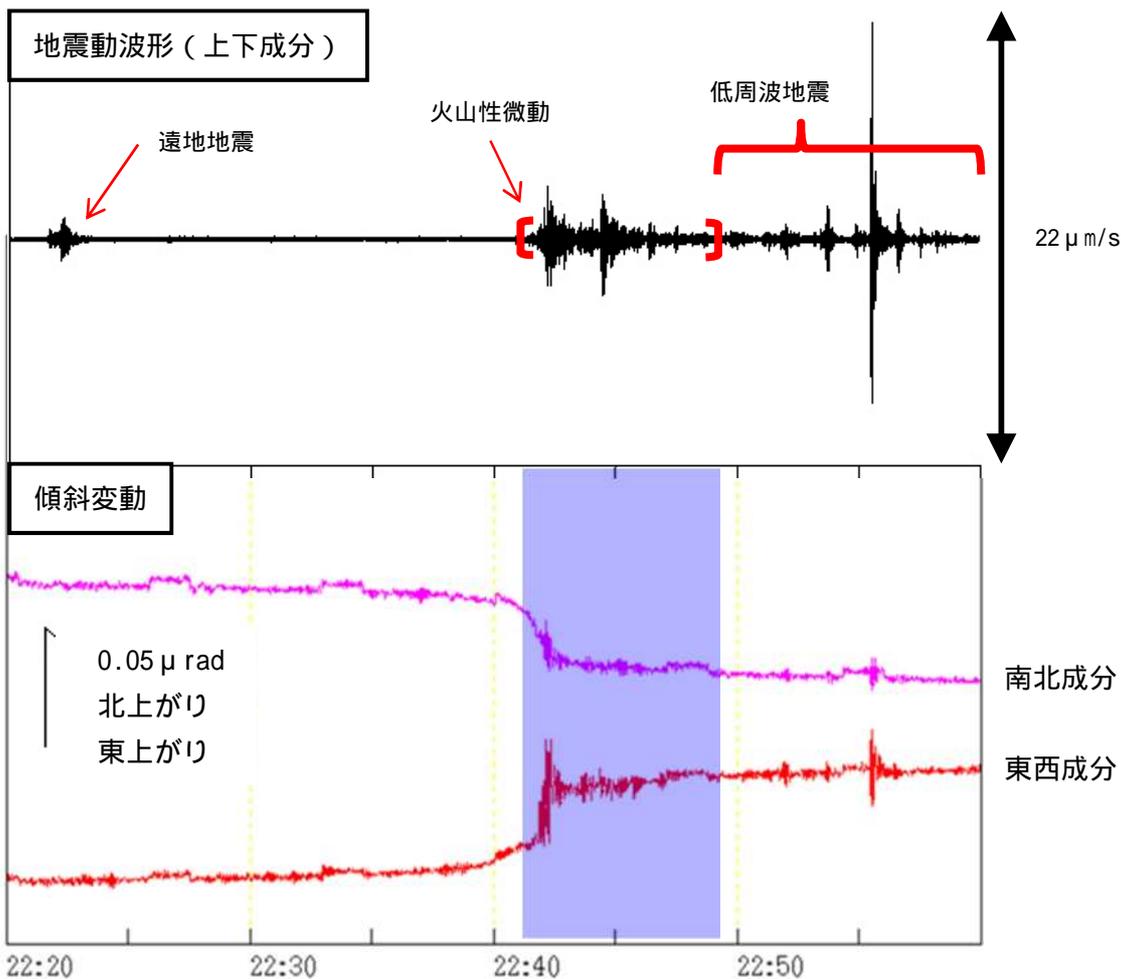


図5 蔵王山 坊平観測点での火山性微動に伴う傾斜変動  
 (2014年8月6日22時20分~23時00分)  
 が火山性微動発生時



図6 蔵王山 刈田岳から撮影した御釜付近の状況 (2014年8月7日11時50分)  
 ・降雨等により確認できなかった期間もありましたが、特段の異常はみられません。

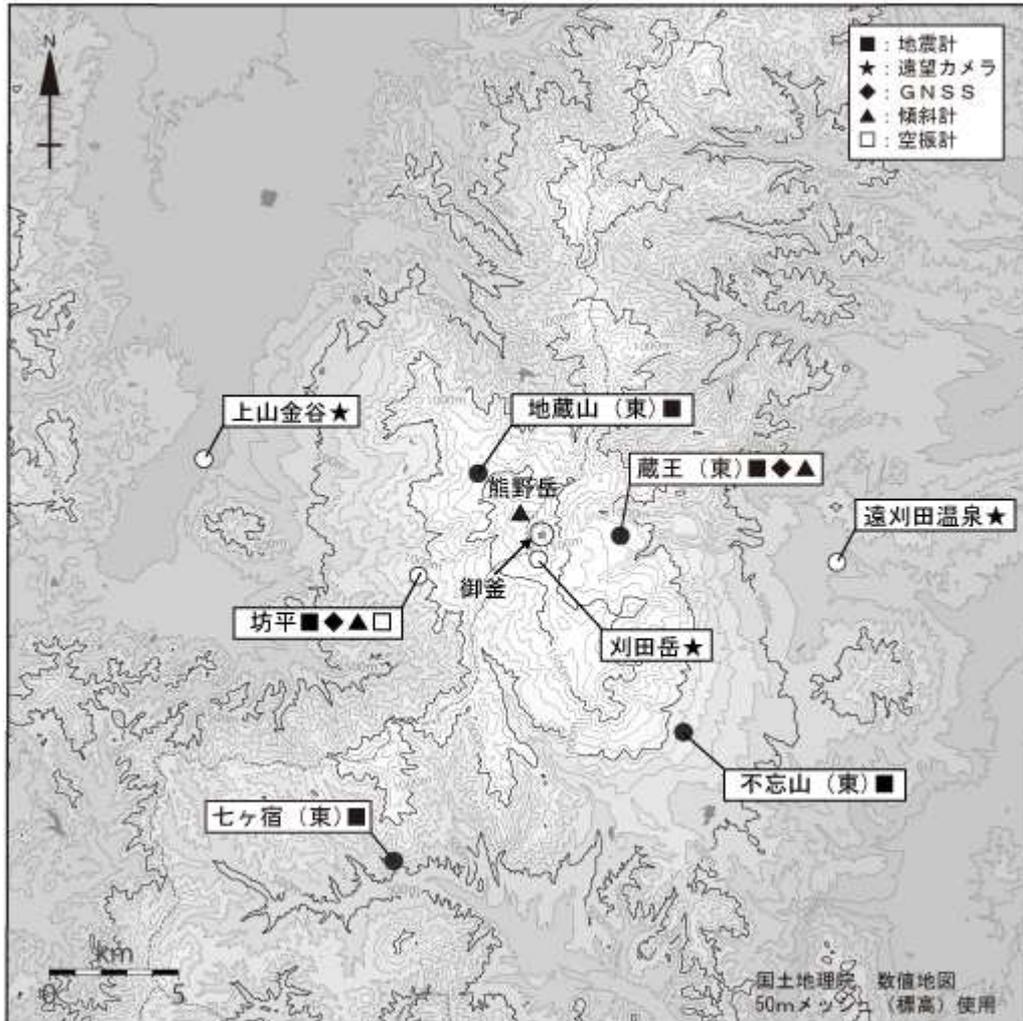


図7 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸( )は気象庁、小さな黒丸( )は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(東)：東北大学